

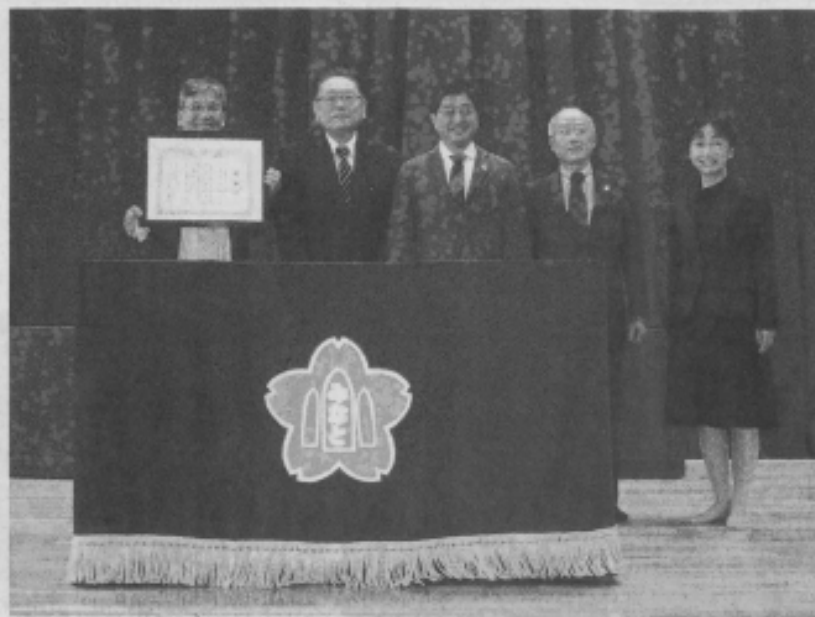
大牟田・みなと小

子どもたちを笑顔に

キワニス クラブ 演台カバーなど贈る

令和2年7月豪雨で甚大な被害を受けた大牟田市みなと小学校(馬籠秀典校長)に、福岡キワニスクラブ(清水信彦会長)から演台

カバーが贈られた。同校体育館で行われた寄贈式には清水会長ら出席。サプライズプレゼントも用意し、子どもたちに笑顔を届けた。



みなと小に贈られた演台カバー

入学式などの式典で使用する演台カバーは被災当時、校舎1階の事務室前で保管していたため浸水。クリーニングを断られ途方に

暮れていたところ、同クラブから支援の声が上がった。贈られたカバーの前面には、以前のカバーにはなかった校章が校旗と同じ水色で描かれている。

式には6年生45人と職員、同クラブ役員4人が出席。馬籠校長が経緯を説明し、感謝を伝えた。清水会長は「今まで経験したことのないような災害が全国で頻発している。地球温暖化などについてもみんなが考えながら学校生活を過ごしてほしい」と呼び掛け、馬籠校長にカバーを手渡した。

児童を代表し、中山海樨さんが「大事な式の際に使わせてもらいます」とお礼。子どもたちを笑顔にしたいと、同クラブの元太輝幸副会長が手作りしたゴム仕掛けのチヨウの玩具300個もサプライズで贈られた。(田上 友樹)